

# 2024年9月期第2四半期決算説明会 質疑応答

---

2024年5月28日

富士製薬工業株式会社

東証プライム 4554



FujiPharma

	質問	回答
1	<p>公表された下方修正は2030年ビジョンに対してかなり乖離していますが、次期中経や2030年ビジョンのアップデートは計画されていますか</p>	<p>今中経最終年度における主な未達要因の一つに海外事業があります。                      こちらは少し遅れてはいるものの進捗しており、次の中経期間の中でしっかりと具体化させることで当初計画に近づけてまいりたいと考えております。                      今中経は24/9期で終わりとなり、次の5年に向けた新中経は現在策定中です。                      改めて皆様にご説明いたします。</p>
2	<p>高付加価値製品の開発により下期に研究開発費が増加しているとのことですが、どのような領域のことを指すのでしょうか</p>	<p>当社では新薬ならびにバイオシミラーと定義しております。                      24/9期の研究開発費の増加に関しては、米国向けの新しい製剤の開発費用が増加していることが主な要因となっております。</p>
3	<p>FSN-014の進捗に関してアップデートはありますか</p>	<p>ライセンス元の会社が欧米での承認申請をこれから行う予定です。承認が取得され次第、国内開発に関する検討を進めていきたいと考えております。今後、検討・開発動向に変化がございましたらアップデートしてまいります。</p>

	質問	回答
4	<p>バイオセიმがバイオシミラー普及に与える影響、バイオセიმの規制動向への考えを教えてください</p>	<p>バイオシミラーにとっては必ずしもポジティブな状況ではないと考えております。バイオセიმの動向につきましては、しっかりと注視してまいります。</p> <p>一方で既にバイオセიმが上市されている市場に関しては、一定程度バイオシミラーもシェアを獲得しており、その要因等について分析を進めております。</p> <p>当社開発品におきましても、バイオセिम登場が想定される場合は事業性試算の際にもその影響を織り込んでおり、それら踏まえて準備を進めてまいります。</p>
5	<p>今後、BS領域は女性用医薬品と並ぶ柱にしたいという認識でよろしいでしょうか</p>	<p>ご認識の通り、当社は2020年に発表した2030年ビジョンにおきまして、女性医療に続く新たな柱としてバイオシミラー事業の確立を掲げております。このビジョンの期間内において、定量的な面で女性医療と並ぶほどまでの拡大は計画しておりませんが、医療現場のニーズにお応えできるよう、そして弊社の成長にも大きく寄与する事業になるよう、しっかりと準備を進めているところです。</p>

質問	回答
<p>6</p> <p>ウステキヌマブの目標売上高、シェアについて教えてください</p>	<p>現時点ではウステキヌマブの具体的な売上、シェア予測に関しては非開示とさせて頂いております。</p> <p>市場性については、先行品の市場は薬価ベースで600億円超と推計されます。適応症の違いにより乾癬＝皮膚科領域と、クローン病・潰瘍性大腸炎＝消化器科領域の二つに大別され、その市場シェアは皮膚科対消化器科領域で約1対9となります。当社バイオシミラーは当初は乾癬関連の適応のみとなり、先行品市場全体の1割がターゲットです。</p> <p>一方で今回の承認取得は単独1社であり、一番最初にバイオシミラーメーカーとして活動を開始することができます。まずは今の段階で口座を確保し、消化器科領域の適応を取得した後に、当製品がしっかりと売上に寄与できる状態を目指し活動してまいります。</p>
<p>7</p> <p>ウステキヌマブBSの上市スケジュールについて詳しい内容は開示されていますか</p>	<p>5月22日に薬価収載となり29日に発売開始の予定でございます。</p> <p>弊社リリース：  <a href="https://www.fujipharma.jp/_upload/07533beffe99d898711c378e5f597f42c2b50682.pdf">https://www.fujipharma.jp/_upload/07533beffe99d898711c378e5f597f42c2b50682.pdf</a></p>

質問		回答																				
8	<p>中期経営計画の最終年度の女性医療事業、バイオシミラー事業、海外事業、造影剤事業の売上高目標を教えてください</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>中経策定時 計画</th> <th>24/9期 修正計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性医療</td> <td>200億円</td> <td>209億円</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>90億円</td> <td>38億円</td> </tr> <tr> <td>造影剤</td> <td>110億円</td> <td>101億円</td> </tr> <tr> <td>バイオシミラー</td> <td>20億円</td> <td>18億円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>80億円</td> <td>94億円</td> </tr> </tbody> </table>				中経策定時 計画	24/9期 修正計画	女性医療	200億円	209億円	海外	90億円	38億円	造影剤	110億円	101億円	バイオシミラー	20億円	18億円	その他	80億円	94億円
			中経策定時 計画	24/9期 修正計画																		
女性医療	200億円	209億円																				
海外	90億円	38億円																				
造影剤	110億円	101億円																				
バイオシミラー	20億円	18億円																				
その他	80億円	94億円																				
<p>海外事業： 米国向けの製造受託案件（OLIC）や米国向けの製品開発案件（富山工場）、FSN-013含めたOLICにおける製販事業展開が少し遅れて進捗していることが影響しております。</p> <p>バイオシミラー事業： 今中経は次の5年間に対する仕込み時期であり、これから事業拡大期に入っていく段階になります。</p> <p>※Appendixのp43及び45に事業領域ごとの24/9期の実績と修正後計画をお示ししております</p>																						

## 予想および見通しに関するご注意事項

本資料に記載の業績予想及び将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき弊社にて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。また、本資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

### 連絡先

---

**富士製薬工業株式会社 経営戦略本部 経営企画部 経営企画課**

**E-Mail** : fsk\_ir@fujipharma.jp

**U R L** : <https://www.fujipharma.jp/>